



第18回例会

平成18年11月8日(水)  
サンパレス福島

本日のプログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 奉仕の理想
3. 四つのテスト
4. 来訪者の紹介と会長挨拶
5. お食事をどうぞ
6. 東北第一区  
野地利雄地区幹事挨拶
7. ガバナー訪問 国際RC第2530地区  
ガバナー 寺島岩男 様
8. 各委員会報告
9. 閉会点鐘



会長挨拶

齋藤 ミヨ会長



皆さん、こんにちは。  
昨日は立冬に入り、気象が一変致しました。  
北海道の佐呂間町の突然の竜巻の報道に災害の恐ろしさを感じました。さて、本日は多忙な中、ガバナー寺島岩男様のご来訪を頂き誠にありがとうございます。  
また、うれしい事に3名の体験例会に出席を頂きました渡辺龍也様、マリアン森口様、丹治康弘様、ようこそお出かけ頂き会員共々歓迎致します。

本日は、楽しく食事を頂き、ガバナースピーチを頂け

る事は素晴らしい、めぐり合わせかと思えます。  
さて、11月2日に社会奉仕委員会の事業の一環として、消防本部の防災予防週間にちなみ、寄付金を持参して参りました。このお金は、明日行われます防火パレードに参加される幼稚園児の記念品にされるとお聞きしました。大変喜んで頂き、民報、民友新聞にも広報して頂きました。

明日のパレードに、当クラブ会員が17名の参加を頂いております。

10時30分から宜しくお願い致します。

今日は財団月間にちなみ、RI会長のメッセージを紹介したいと思います。「ロータリーは、ロータリー財団を抜きにして今日のロータリーを考えることは不可能なことです。例を言えば国際奉仕プロジェクト各種の助成金・奨学金、それに増してポリオプラスなどのほとんどはロータリー財団の資金によって成立しているからです、と述べられております。」2006年6月30日現在の資料ですが、◎財団創立以来の日本の寄付累計額、362,197,806米ドル、◎財団奨学生が世界全体では、37,000人その詳細は、ロータリーの友に記載されておりますが、一人ひとりの善意がこのような大きなプロジェクトとなり、文化交流を深め人々の平和な関係を築くため支援出来る事は、国際ロータリーの努力であることを強く感じました。

先週、財団委員長の喜古勝弘さんから、スピーチを頂きましたが、委員長は、力はあるが気が弱いので大きな声で言えなかったと思います。財団委員長にかわりまして私から、財団宜しくお願いします。

いよいよ季節も変わり大変空気が乾燥しておりますので、かぜなどひかぬよう健康には十分留意していただきたいと思えます。

ではこれをもちまして、挨拶と致します。

野地地区幹事よりガバナー紹介



皆さん、こんにちは。  
本日は、浅倉ガバナー補佐がクラブ訪問の日となっております。しかし、補佐の公務多忙な為、日程が調整出来ず皆様に御迷惑をかけて大変申し訳ございませんとおっしゃっておられました。補佐の代わりに寺島ガバナーがご挨拶を申し上げます。

2530地区ガバナー 寺島岩男様



皆様こんにちは、  
今日は、南RCの例会に出席させて頂きました。まずもって、7月19日に当地区70年の歴史の中で初めての地区合同公式訪問には、先陣を切って、1部の合同会長・幹事会、2部合同例会、3部の親睦と友情を深める大懇親会と素晴らしい仕組みづくりのなか、実施して頂きました事に感謝申し上げます。

また、初めての試みという事で、浅倉ガバナー補佐・野地地区監事の指導のもと、ホストクラブの齋藤ミヨ会長・紺野仁昭幹事を中心に歴史に残る意義のあるプログラム作成と更に、実施運営へと進めて頂きました事、そして私の意とする所をご理解頂き、目的意識を持って取組んで頂いたからこそ、緊張の中にも各々楽しく情報の共有を図れ、更にクラブ間の横の繋がりも、強める事が出来たものと確信を致しております。

お蔭様で、東北第一区を皮切りに、7月30日東北第二区、8月6日会津区、8月22,23日県南区、9月8日中央区、9月21日いわき区、9月24日県中区、10月4日相双区と無事全てを終了する事が出来ました。

私は、会員の皆様方に合同公式訪問に理解を示され、率先して参加を頂きました事に感謝申し上げますと共に、私自身も多くの会員の皆様と好意と友情を深める交流を計ることが出来ました事、思い出に残る公式訪問と重ねて感謝申し上げます。

また、第2530地区大会では、65クラブ会員の皆様と大会を通じ「意義ある情報の共有化」も、図ることが出来たものと確信しております。

松島とも子様の講演をはじめ、2日間の実り多き地区大会、出逢い、ふれあい、学びあい、皆様方の暖かいご支援のもと思い出多い地区大会として終了する事が出来、心から感謝申し上げます。

今月・来月のプログラム

11月8日防火パレード・福島RC例会出席  
(荒井愛隣幼稚園児)



担当者 鈴木 光一